

放置竹林がエネルギー源に

合同会社「竹取物語」の新たな挑戦

伸び放題で手入れされない放置竹林が全国各地で問題になっていくが、「竹をエネルギー源に変える」という新たな取り組みに挑戦する企業が栄町で発足した。合同会社「竹取物語」は「竹の6次産業化をけん引する」を目標に掲げている。竹取物語の起業に尽力した、代表社員の塚田湧長さん(82)に取り組みについてインタビューした。

住民パワーが押し上げた会社 塚田湧長さん

塚田さんたちが合同会社「竹取物語」を立ち上げたのは、栄町内にある放置竹林の竹は1年間で約10センチ成長する。3年間では成木になるという。栄町内には約57ヘクタールの竹林があり、手入れされない放置竹林の竹は伸び放題で「倒れた竹による送電トラブル、通行障害」などの竹に関するトラブルをよく耳にするという。

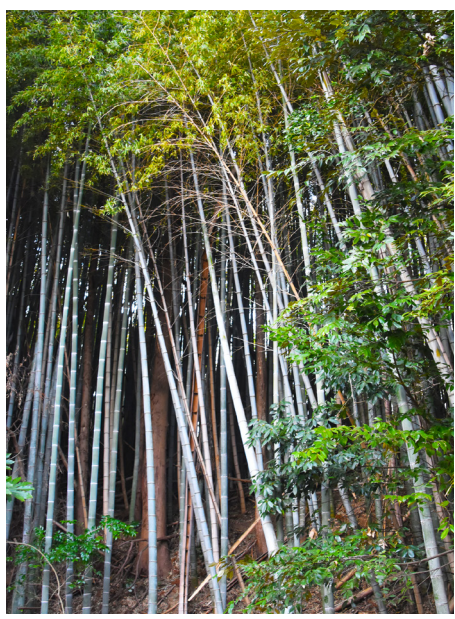
竹は伐採してもごみとして回収されず、ごみ焼却炉では燃やせない。伐採した竹は腐るまで放置するが、竹は元々腐りにくい性質で竹の空洞に入った雨水が蚊の発生源になるといわれる。一方、竹は持続可能な素材として注目され、割りばしの素材に使われるなど、方法次第では「資源」としても使えるという。



このため塚田さんらは、竹の有効活用を推進し脱炭素社会の実現につながるプロジェクト「かぐや姫プロジェクト」に取り組んでいる。

参加。竹をエネルギー源にする発電を行うという。具体的には▽成長した3年物の竹を伐採しチップにする▽伐採した竹を蒸し焼きにして水素ガスを取り出す▽取り出した水素ガスをスターリングエンジンで燃

やしてタービンを回し発電するという工程。また、竹を蒸し焼きにすると水素ガス・竹炭・肥料が出来るので、CO2を極力出さずにエネルギーが得られるという。



エネルギーの地産地消

塚田さんは「邪魔者の竹がエネルギーになる。町内の竹林が整備され発電の材料になる。まさに「エネルギーの地産地消」と、将来への展望を熱弁する。

将来的には栄町内に100キロワット規模の発電所を整備し、普段は売電で電力会社に販売。災害時には自前で電気を供給できる体制を整える構想だ。

「竹林を整備してみんなが訪れる場所にしたい。整備した竹林は観光地になる」と、塚田さんは栄町が「竹で地域おこし」の将来を見据えていた。

プロフィール

1941年長野県生まれ。長野高校、工学院大学工学部電気科卒業。1972年栄町に移住。日立製作所中央研究所などを経て、2020年栄町議選に初当選。住民活動に長年取り組み、栄町さくらの会(会長)、のら市の会(事務局)、キャンドルナイトの会(同)、のら里くら里健康ウォーキングの会(同)、NPO法人まちづくりサポートひとまち倶楽部(理事長)

武蔵屋で町家ひな祭り

ひな飾りが勢ぞろい



印西市木下にある、市内唯一の国登録有形文化財「武蔵屋」で3月1日から3日まで「第19回町家ひな祭り」が開かれ、屋内に展示されたひな人形を見に来る市民が立ち寄った。会場内には茶室に設けられた東京基督教大学の茶道サークルの部員が抹茶を振舞った。会場には中澤俊介・印西市議も訪れ抹茶で一服した。

郷土の書籍紹介

いつも心に太陽を

矢野浩子著(栄町在住)



現在傘寿(80歳)を迎えた著者が自身の半生を振り返った二代記。第2の人生を描いた「再出版 挑戦編」の章では、著者がシャランソク教室に通って発表会に出場したり、パソコン教室に参加するなど、新しいことに積極的に取り組む様子が伺える。

文芸社刊 1100円(税別) 著書のご注文は最寄りの書店、または文芸社、電話0120(03)1148へ。

★読者プレゼント 矢野浩子さんの著書「いつも心に太陽を」を、抽選で5名様にプレゼントします。 ※USシネマ千葉ニュータウンの映画ペアチケットプレゼントと併願できます。 内容は▽住所▽氏名▽年齢▽電話番号▽メールアドレスを明記の上で、紙面・WEB版のご意見・ご感想、お薦めの飲食店など様々な情報をお寄せください。 ※応募締め切りは4月30日(ハガキは30日の消印有効メールは30日到着分まで) 〒270-1326 印西市木下166-18(2F) 利根新報編集部 読者プレゼント係

印西・船尾の群像 今日皆様方のご利用お待ちしております。

ブルーラインジャパンタクシー

従業員急募

◆タクシー乗務員
正社員および定時制(定年退職の方歓迎)

シニア&男女 歓迎
(全車ジャパンタクシー)
日勤(昼夜)、隔日有り

船尾タクシー有限公司 印西市船尾805-1
https://www.funatocsi.com/ ☎0476(46)0239

CUT HOUSE ¥1,300

早い! 安い! 上手い! 三拍子揃った理髪店

営業時間9:00~18:00 月曜日定休
我孫子市布佐2564-3(栄橋近く)